

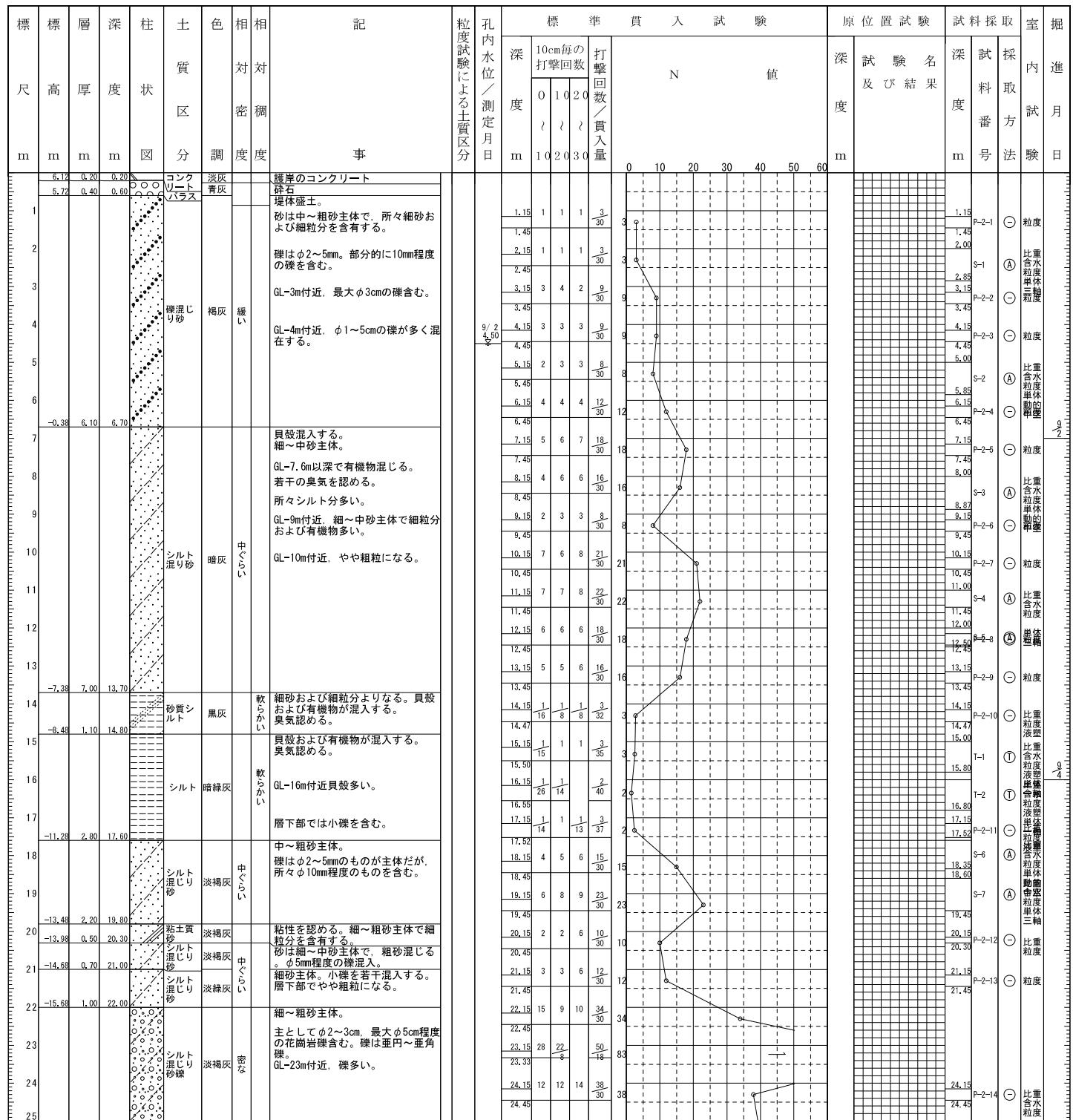
ボーリング柱状図

調査名 国際拠点港湾 広島港 嘉永地区 海岸保全施設耐震性能評価業務委託

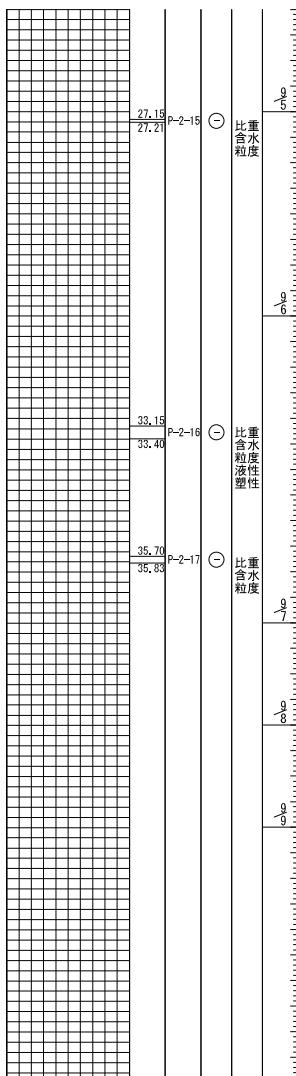
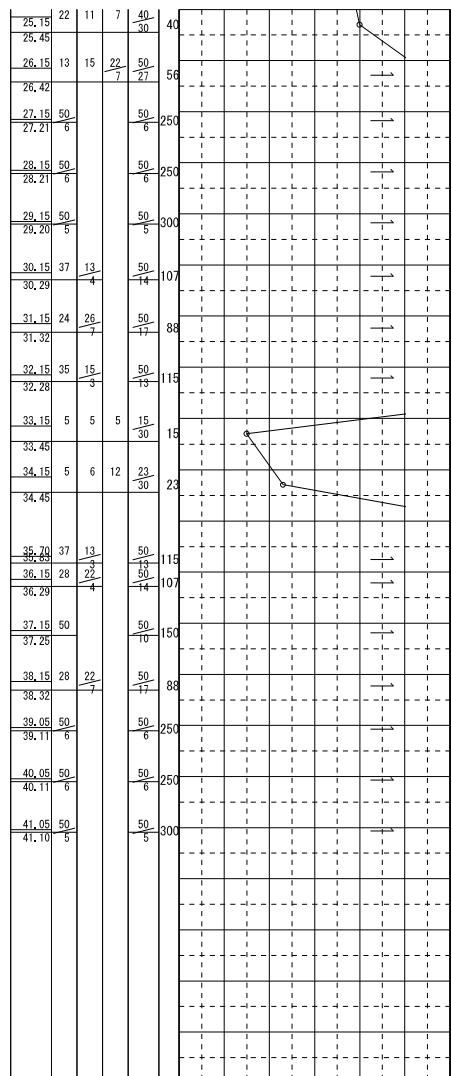
ボーリングNo. 5 1 3 2 4 2 1 6 0 0 2

シートNo. 1

ボーリング名	No.2	調査位置	広島県廿日市市串戸一丁目	北緯	34° 20' 48.0480"				
発注機関	広島県港湾振興事務所	調査期間	平成29年 9月 2日～平成29年 9月 9日	東経	132° 19' 53.2529"				
調査業者名		主任技師	現地理人	コ鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	CDL 6.32m	角度	180° 上 下 0° 90° 0° 向	方位 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 36° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種 試錐機 エンジン	東邦D1-B ヤンマーNFD-9M	ハンマ一落下用具 ボンブ	半自動型 東邦製BG-3型
総掘進長	41.00m								



-16.98	3.30	25.30	シルト 混じり 砂礫	淡褐色 暗褐色	密 な 中 ぐら い	GL-25m付近。礫多い。 砂は細～中砂で、細粒分含有する。	
-19.58	0.60	25.90	シルト 混じり 砂礫			マサ状で細～中砂主体。 礫はφ2～5cm程度の垂円礫。	
26			リシル ト混じ り砂	褐灰			
27			玉石混 じり砂 礫	褐灰	非常 に密な	全体的に玉石および礫主体。玉石 はφ10～15cm、礫はφ1～5cmの垂 角礫。 マトリックスは細粒分混じる砂。	
28						GL-29m付近。φ10～15cmの硬質な 花崗岩玉石を多く混入する。	
29							
30	-23.68	3.00	30.00	礫混じ りシル ト混じ り砂	茶褐色	非常 に密な	流積マサ状。 礫はφ3～5cm程度のものが主体。 層上部は礫多い。 下部ほど礫少なく、礫も小さく なる。
31							
32	-26.48	2.80	32.80	砂混り 粘土	暗黒灰	非常 に硬い	細粒分主体で砂は細～中砂。 全体的に有機物多く、臭氣を認め る。 少量の礫混入する。 GL-34mより、やや粗粒になる。
33							
34	-26.08	1.60	34.40	シルト 混じり 砂	青灰		流積マサ状。中砂主体。
35	-26.58	0.50	34.90	玉石	青灰		
36	-26.98	0.40	35.30	礫混じ りシル ト混じ り砂	白灰	非常に密な	CM級花崗岩の玉石。L=40cm。 流積マサ状。 φ1～3cmの礫を含有する。礫は一 部円磨されている。 所々の1～3cmの石英塊を混入。 未風化礫と風化礫による。
37							
38	-31.68	2.70	38.00	花崗岩	淡褐色		風化したDM級の粗粒花崗岩。指圧 により砂状になる。 風化棒状コアで採取。 GL-38.32～38.42間は硬質な石英脈 。GL-40.0～40.8m間、縦亀裂が入っ ている。 GL-40.1～40.4m間、部分的に変質 し、粘土化している。 GL-39m以深、DH級となる。軽い打 撃で細分化可能。
39							
40							
41	-34.68	3.00	41.00				
42							
43							
44							
45							
46							



(株)荒谷建設コンサルタント